

# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 元年 6月 5日(水曜日) 4時00分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	挟まれ・巻き込まれ	性別	男性	年齢	36	業種区分	土木
被災程度	右手中指薬指打撲裂傷			事故レベル	I	休業見込日数	0日
工事概要	地下鉄工事						
事故概要	夜勤にて1段目土留支保工の解体作業を行っていた。地上へ吊り上げた山留材H-400のピース材(t=100mm)を2名で小払し作業をしていた際、原因者が主材とピース材をパールで切り離した時に、近接して作業を行っていた被災者がラチェットを取るために伸ばした右上手に当該ピース材が倒れて挟まれた。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別の作業をしていたのに作業位置が近すぎた</li> <li>・原因者と被災者が周囲をよく見ていなかった</li> <li>・ラチェットがピースの倒れる位置に置いてあった</li> </ul>						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山留材小払しを行う場合は、各作業エリアをカラーコーンとコーンバーで囲い立ち入り禁止とし、エリア間の離隔を十分にとる</li> <li>・作業時に周囲の安全を十分確認する</li> <li>・工具類は安全な位置に置く</li> <li>・再発防止周知会を行い、作業員の安全意識向上を図る</li> </ul>						

## 事故状況図

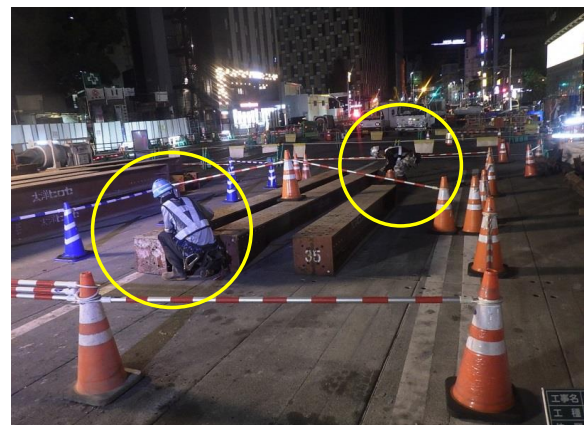


## 改善状況図

再発防止周知会の実施



各作業エリアの区分け



# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年6月12日(水曜日)10時15分			工事関係者区分	元請け
事故区分	工具等取扱	性別	男性	年齢	53	業種区分	土木
被災程度	右長母指筋腱断裂・右母指MP関節開放性脱臼骨折・右手掌挫創			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	19日
工事概要	擁壁(補強土壁)設置工事						
事故概要	エラストイトの切断作業時、回転刃を装着したグラインダーが右手に接触し受傷した。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れない機械器具を使用したこと。</li> <li>材料の切断作業後、機械器具の電源を切らずに次の集積作業を行ったこと。</li> </ul>						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝礼、現場安全訓練、社内安全会議を行い、事故の発生状況や原因を説明し、再発防止対策(機械器具の安全な作業手順等)の確認を行った。</li> </ul>						

## 事故状況図

状況図



ディスクグラインダーによる試し切断中



切断後、右手で握っている



右手にディスクグラインダーが接触



ディスクグラインダーと手袋

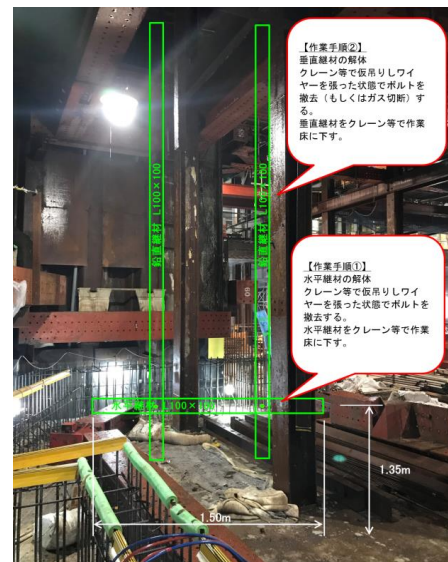
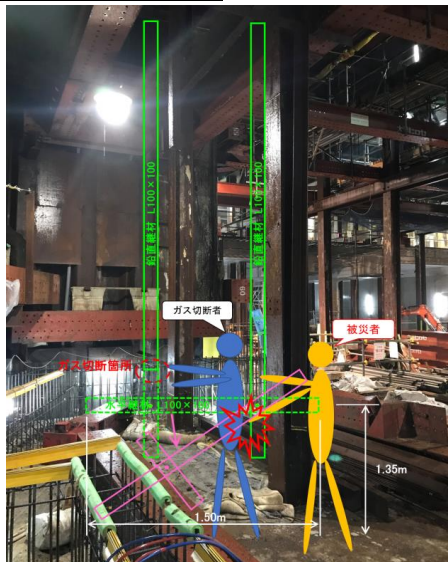
## 改善状況図



# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年 6月 15日(土曜日) 13時05分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	まれ・巻き込ま	性別	男性	年齢	56	業種区分	土木
被災程度	左示指骨折、左中指骨折			事故レベル	II	休業見込日数	4日以上
工事概要	地下鉄七隈線延伸工事						
事故概要	土留支保工解体作業において継材解体作業中、鉛直継材(L-100)と水平継材(L-100)の間に左手指先を挟まれた。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>決められた作業手順を守らなかった。</li> <li>鋼材の振れ防止を人力で直接行った。</li> </ul>						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>決められた作業手順を守る。</li> <li>作業前日までにJV職員が作業手順書の有無を確認し、作業当日のKY活動等の場において各作業の作業手順を再周知するとともに、作業手順書を各作業場所に掲示する。</li> <li>JV管理体制の強化として、現場巡視指導員に加え、現場代理人もしくは監理技術者が、作業手順書が守られているかの作業状況を常時巡回監視するとともに、支店工事部長及び支店安全部のパトロールの回数を増やし、現場安全巡視を強化する</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図

再発防止周知会の実施



作業手順再周知の実施



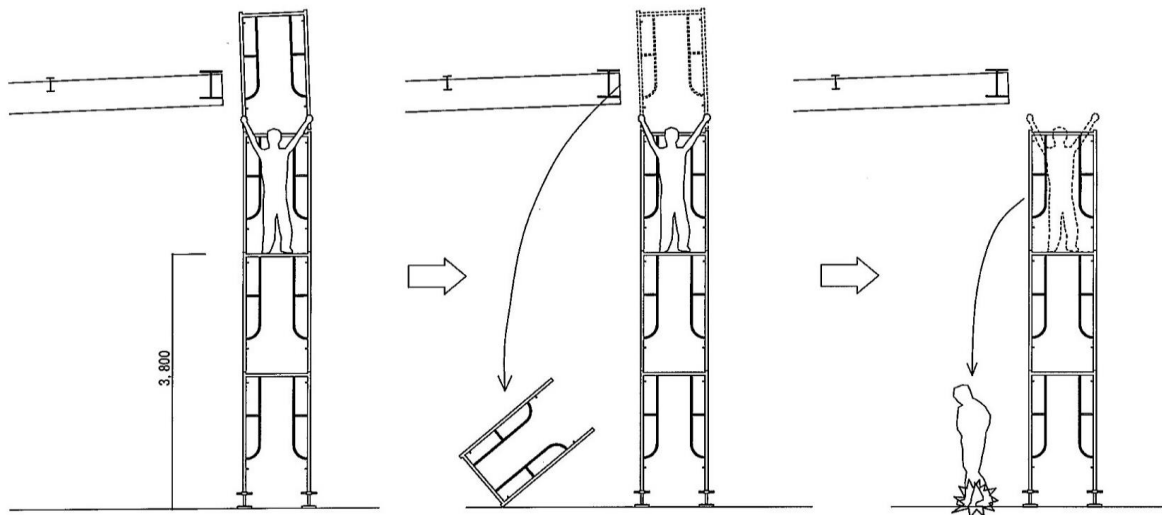
作業手順書を作業現場に掲示



# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年 6月 21日(金曜日) 14時 00分		工事関係者区分	二次下請	
事故区分	墜落・転落	性別	男性	年齢	36	業種区分	建築
被災程度	両足踵骨折, 右足脛骨天蓋骨折		事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	90	
工事概要	鮮魚市場 長浜卸売場棟改築外工事						
事故概要	東卸売場棟南面の外部足場組立作業中に、3層目から4層目の枠(W900)を組立てる際、4層目の枠との差込が斜めになった為、一度抜き直そうとしたところ、抜いた反動で枠が落ち、被災者もバランスを崩してしまい、安全帯を掛けていなかった為、3層目(高さ3.8m)から墜落し、両足でアスファルト舗装部に着地状態となった。両踵に痛みがあると報告があった為、病院に搬送し、診察の結果、両足踵骨折及び右足脛骨天蓋骨折であった。						
事故原因	足場開口部から墜落する危険があったにもかかわらず、外部足場組立作業中に安全帯をつけていなかったため事故が発生したものである。災害時は手すり先行足場を使用していたため、安全帯を掛ける場所はあったが、被災者は鳶工として10年従事しており、安全帯を掛けなくても大丈夫と過信があった。また、災害時は作業主任者を含め4名で作業を行っていたが、作業主任者は被災者が安全帯を掛けていなかったことを認識したうえで事故が発生しており、作業主任者による指導も不十分であった。						
改善策	1. 毎朝のKY活動や災害防止協議会等を通じて、危険箇所での安全帯の使用を徹底させた。また、特に新規入場者に対しては一週間以内の間は特に慎重に作業を行うよう注意を促した。その他足場組立作業主任者に対して、作業員全員の役割分担や安全注意事項の周知を徹底させた。 2. 足場組立作業の手順については1段上の足場の設置を禁止した。また、墜落の危険がある箇所において作業を行う場合には、親綱を設置して安全帯のフックを足場材だけでなく親綱にも取り付けられるようにし、より安全に作業を行うこととした。						

## 事故状況図



## 改善状況図

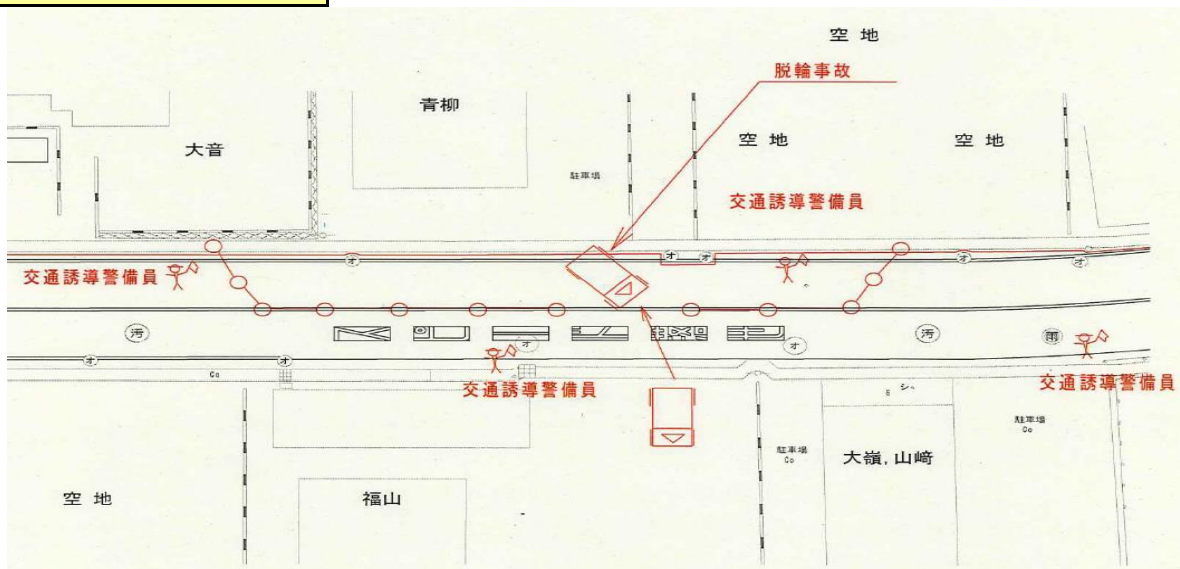
親綱を設置



# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年6月21日(金曜日)16時20分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	自動車等	性別	男性	年齢	49	業種区分	土木
被災程度	車両後部のバンパー破損			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	仮設管布設のため掘削作業中、後進する配達車両の助手席側後輪が掘削堀山に脱輪したものの。						
事故原因	工事現場には交通誘導警備員4名を配置し、工事区域についてはカラーコーン及びコーンバー等により区分されていた。しかしながら、事故発生個所にはコーンバーを設置していなかったことや配達車両から掘削箇所が視認しづらかったこと、高低差がある現場であり交通誘導警備員から事故発生個所が見えづらい位置にあったため当該車両の進入に気付かず誘導できなかったことから事故が発生したものの。						
改善策	安全訓練を行い、再発防止として下記のことを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーンバー等により交通区域を分離して一般車両の進入を防ぐこと。</li> <li>・現場条件に適した交通誘導員の配置を行うことにより同様の事故の再発を防止すること。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図

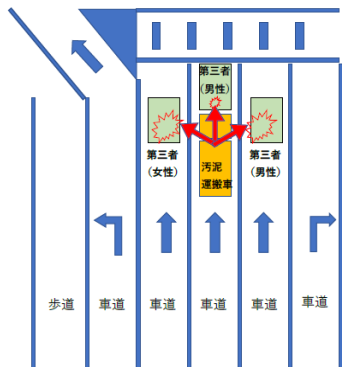


再発防止に向けた安全訓練を実施(コーンバーを設置し、交通区域を分離)

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年 6月 27日(火曜日) 10時35分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	自動車等	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	第三者(3名)乗用車及び道路面に汚泥を飛散			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	交通局建設部工事事務所						
事故概要	シールド工事に伴い発生した汚泥を運搬中の産業廃棄運搬車両が急停車した際、その反動により積載していた汚泥が運搬車両の覆の間から飛散し、周辺に停車中の一般車両3台と道路面を汚損させた。						
事故原因	汚泥運搬車が前方を走行する乗用車との車間距離を十分に確保せず、急ブレーキを踏んだため。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JV 職員および運搬会社運行管理者により、運転手全員に一般交通ルールの再指導を行い、急発進、急停車することがないように、十分な車間距離を確保したゆとりある運転を常に心がけるように指導を行った。</li> <li>・万が一、急ブレーキを踏んだ場合でも、汚泥飛散量を抑制できるように、各社運搬車両の特徴に合わせて改良を検討するよう指導を行った。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図

再発防止周知会の実施



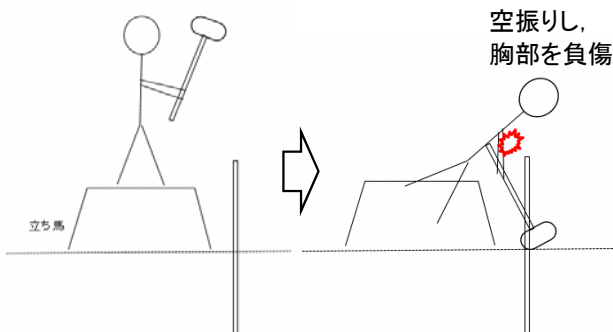
運搬車両の構造の改良検討



# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	平成31年6月10日(月曜日) 11時20分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	工具等取扱	性別	男性	年齢	50	業種区分	土木
被災程度	胸部打撲による負傷			事故レベル	I	休業見込日数	3日
工事概要	道路拡幅に伴う舗装工事						
事故概要	歩道内の横断防止柵設置作業で、支柱を土中に建込むため、立ち馬を使用し、ハンマーで打ち付ける際、空振りをし、転倒したときに手元の柄が胸部にあたり、負傷した。						
事故原因	支柱を建込む際、立ち馬を使用し施工していた。支柱の建込み当初は、H1800mm(H800+根入長1000)だが、事故発生当時はH1100道程度まで建込んでおり、地上からの作業が可能な状態にもかかわらず、そのまま立ち馬での作業を行い無理な体勢での作業となったことが原因である。						
改善策	作業前のKY活動等において、危険性の見落としや問題点等を洗い出し、作業員全員で作業手順を詳細に確認する。 作業においては無理のない安全な体勢で作業を行うよう(立馬上で不安定な体勢での作業の禁止)徹底させる。 また、作業主任者は、作業員が手順どおり作業できているか確認を行う。						

## 事故状況図



## 改善状況図

事故後に安全対策会議を行い、今後の改善策を確認した。

